

口永良部島の火山活動について

平成 30 年 8 月 16 日 (17:00) 現在
官 邸 連 絡 室

1. 火山活動の概要 (気象庁：16 日 15:00 現在)

(1) 火山活動の状況

8 月 8 日頃から、火山性地震や火山ガスの放出量が多い状態で経過していたが、8 月 15 日 0 時頃から、これまでより深い場所で火山性地震が増加し、15 日 36 回、16 日 15 時までに 1 回発生。15 日未明に最大でマグニチュード 1.9 (速報値) を観測。

火山性地震の震源は新岳の南西山麓付近の深さ約 5 km で、2015 年 5 月の噴火前 (2015 年 1 月) に発生した地震と概ね同じ場所であると推定されることから、今後、火山活動が更に高まる可能性。

(2) 噴火警報

15 日 10:30 口永良部島 噴火警報 (居住地域)

噴火警報レベルを 2 (火口周辺規制) から 4 (避難準備) に引上げ
新岳火口から概ね 3 km の範囲では大きな噴石及び火砕流に警戒が必要。
警報対象市町村：鹿児島県屋久島町

(3) 火山情報等の発表状況

15 日 10:30 噴火警報

15 日 12:45 火山活動解説資料発表

15 日 16:00 火山の活動状況に関する解説情報発表
(以降随時発表、基本的に 1 日 1 回)

2. 政府の主な対応

15 日 10:30 官邸連絡室設置

10:30 総理指示

1. 地方自治体と緊密に連携し、政府一体となって、早急な避難など住民等の安全確保の措置を徹底すること

2. 火山の観測を強化し、住民等に対する適時的確な情報提供を行うこと

13:30 関係省庁災害警戒会議

16 日 13:15 関係省庁災害警戒会議

3. 周辺自治体等の対応状況

(1) 鹿児島県

- 15日 10:30 災害対策本部設置
- 13:00 口永良部島火山防災連絡会開催
- 16:00 災害対策本部会議開催

4. 被害状況（未確認情報を含む）

(1) 人的被害（消防庁：16日 16:45 現在）

被害情報なし

(2) 物的被害（消防庁：16日 16:45 現在）

ア 建物被害

被害情報なし

イ その他の被害

被害情報なし

(3) ライフライン

ア 電力（経済産業省：16日 16:00 現在）

被害情報なし

イ ガス（経済産業省：16日 16:00 現在）

被害情報なし

ウ 水道（厚生労働省：16日 16:00 現在）

被害情報なし

エ 通信（総務省：16日 16:00 現在）

被害情報なし

5. 避難状況等（消防庁：16日 16:45 現在）

15日 10:30 口永良部島全域に避難準備・高齢者等避難開始を発令

避難所：1箇所（口永良部島へき地保健福祉館）

避難者数：9世帯 18名（16日 16:00 現在）

6. 各省庁の活動状況等

(1) 気象庁（16日 15:00 現在）

15日 11:30 記者会見

16日 10:30 火山活動についての住民説明会を実施

・火山機動観測班が口永良部島に常駐し、観測体制を強化（16日～）

(2) 警察庁 (16日 17:00 現在)

- ・島内に交番、駐在所の設置はなし
- ・屋久島署員2名を口永良部島へ派遣 (15日～)
- ・パトカー1台をフェリーで搬送予定

(3) 消防庁 (16日 16:45 現在)

- 15日 11:00 高知県、福岡県及び熊本県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼
- 15日 11:24 大分県及び宮崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼

(4) 防衛省 (16日 16:30 現在)

- 15日 11:20 第12普通科連隊、第1航空群及び鹿児島地方協力本部のリエゾン4名が鹿児島県庁に向けて出発。
第1航空群の航空機1機が情報収集のため現地に前進。
- 15日 13:14 航空機による情報収集活動を終了。
- 16日 第12普通科連隊及び鹿児島地方協力本部のリエゾン3名を鹿児島県庁へ派遣。

(5) 海上保安庁 (16日 12:00 現在)

- 15日 10:41 航行警報発出
- 15日 11:30 海の安全情報発出
- 16日 航空機により京都大学防災研究所教授等3名輸送
- ・巡視船等により状況調査を実施 (15日～)
 - ・屋久島町にリエゾン2名を派遣 (15日～)